

令和元年度

事業報告書

社会福祉法人ほのぼの苑

令和元年度事業概要

平成30年介護保険改正においては、自立支援・重度化防止の取り組みを強化して質の高い介護サービスを実現し、医療・介護が連携して中、重度の高齢者を支えることとされています。

本年度、当苑においても、入所者様の重度化がみられる中で、医療・介護の連携強化及び多職種連携により、入所者様に適切な医療・介護サービスが提供できるよう努めています。

また、必要な介護人材の確保を図るとともに、研修会への受講促進や内部研修の実施により、職員の育成を行い、介護力の向上を図っています。本年度は、虐待防止や身体拘束廃止等の研修を重点的に行い、尊厳や人権に配慮したより良いケアが提供できるよう取り組みました。

併せて、地域における公益的取り組みとして、集落が実施するふれあいサロンに参画し、「ほのぼの苑出前講座」として、実践に基づいた高齢者の体調管理のポイントや看取り介護の実情を紹介するなどの活動に取り組んでいます。

当苑は平成12年10月に開業以来19年余りが経ち、建物や設備機器等の老朽化が進行してきましたので、空調の取替、トイレ便座取替、車庫シャッター、消防設備等の修繕、プリンター、プロジェクター、放送機器等の入替購入等を行うなど、介護環境の整備改善を図りました。

一方、今年に入り、全国的に広がりを見せた「新型コロナウイルス感染症」拡大防止対策として、マスクの着用、手洗い、消毒、検温、換気等の徹底や外出外泊、面会者等の制限など早期対応に取り組みました。今後も情勢を見ながら入所者様が安全安心して過ごせるように努めてまいります。

基本理念「みんなで笑顔のために」のもと、施設のご利用者様、ご家族や地域の皆様に愛され、信頼される施設を目指し、職員一丸となって一生懸命頑張っております。

【事務グループ事業報告】

令和元年度、事務グループでは、設備補修と整理整頓に取り組みました。詳細は下記の通りです。3月末までの利用者状況については別紙の通りです。

項 目	内 容	備 考
制度改正対応	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険限度額認定の更新について、事前に対象者ご家族に案内を実施した。 ・10月より介護職員等特定処遇改善加算を算定 ・育児短時間勤務者に対する案内・手続等を実施した。 (3月末現在の時短勤務者は3名)。 	
施設設備の 補修整備	<ul style="list-style-type: none"> ・経年劣化による備品等更新 調理器具・食器、看護G用スマートフォン、プリンタ(5台)、扇風機(3台)、ベッド介助バー、介助用センサー、ラジカセ、プロジェクター 無線LAN中継機、カセットデッキ(1Fホール) 車いす、歩行器(2台)、ポータブル吸引機(2台) 32型テレビ、社用車夏タイヤ、ストレッチャー サーバー機、業務用放送アンプ、チルト式車イス 咽喉マイク(2台) ・各種修繕実施 サーバー機のマザーボード、トイレ便座取替(5台)、洗面所・水道蛇口、誘導看板(2カ所) 玄関入口自動ドア鍵、非常階段ドア鍵(2F西側) 玄関雪止め金具、車庫シャッター、消防設備(排煙窓、防火シャッター、煙感知器)、エレベータ基盤交換、冷却塔補給水管、冷温水発生機、居室・休憩室・調理室空調、トイレドア、特浴ストレッチャー、車イスの修繕 	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・職員制服(介護G、看護G、調理G)を購入 ・裏庭の木の伐採 ・3月末までに介護職2名、調理職2名、介護助手1名、計5名を採用し体制の強化を図ることができた。 ・資格取得奨励により、介護福祉士1名、社会福祉士2名合格者を出すことができた。 	

利用者状況等報告

1.令和元年度 サービス別稼働率

	施設		短期入所		通所介護	
	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率	利用延人数(人)	稼働率
4月	3,202	97.03%	274	91.33%	249	75.45%
5月	3,251	95.34%	281	90.65%	281	81.45%
6月	3,253	98.58%	268	89.33%	254	84.67%
7月	3,343	98.04%	275	88.71%	258	74.78%
8月	3,148	92.32%	282	90.97%	237	71.82%
9月	3,120	94.55%	276	92.00%	248	78.73%
10月	3,364	98.65%	256	82.58%	276	80.00%
11月	3,197	96.88%	252	84.00%	237	75.24%
12月	3,295	96.63%	282	90.97%	259	86.33%
1月	3,240	95.01%	287	92.58%	245	81.67%
2月	3,074	96.36%	236	81.38%	251	83.67%
3月	3,214	94.25%	263	84.84%	265	80.30%
合計	38,701	96.13%	3,232	88.31%	3,060	79.51%
平成30年度	38,755	96.53%	3,344	91.62%	3,241	85.30%

2.市町別施設入所状況

令和2年3月31日現在

	南越前町			福井市	鯖江市	越前市	敦賀市	若狭町	勝山市	合計
	南条	今庄	河野							
男	10	3	1	0	0	9	0	0	0	23
女	31	21	3	0	0	30	2	0	0	87
合計	41	24	4	0	0	39	2	0	0	110

3.施設サービス年齢別状況

令和2年3月31日現在

	～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計
男	0	0	2	1	4	5	9	2	0	23
女	1	2	2	8	11	17	30	11	5	87
合計	1	2	4	9	15	22	39	13	5	110

平均年齢 88歳(男:85.8歳、女:88.5歳)

最高齢:104歳、最年少:64歳

4.施設サービス介護度別

令和2年3月31日現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	更新申請中	合計
男	0	1	8	8	3	3	23
女	0	1	26	35	24	1	87
合計	0	2	34	43	27	4	110

平均要介護度 3.89(昨年度3.84)

5.施設在苑期間別

令和2年3月31日現在

	6ヶ月未満	6ヶ月～1年	1年～2年	2年～3年	3年～5年	5年～7年	7年～10年	10年～15年	15年以上	合計
男	5	3	6	3	1	2	1	1	1	23
女	13	12	12	15	17	4	10	4	0	87
計	18	15	18	18	18	6	11	5	1	110

平均在所期間:3年3ヶ月

【企画相談G事業報告】

企画相談グループでは、入退所に伴う空きベッドの削減に取り組み、稼働率の安定を図る。施設内においては、多職種連携の要として、各委員会の中心となり施設サービスの質の向上を図れるよう努める。その他、地域における公益的活動として、各集落で実施されているふれあいサロンに参加し苑の取り組みを通じた介護予防講座を実施した。

項 目	内 容	備 考
空きベッドの削減と稼働率の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・入所者の決定から入所に必要な手続きを迅速に行うことで、退所に伴う、空きベッド数の削減に取り組んだ。 ・元年度の退所による空きベッド数335日で、新規入所者数は39人、退所後から次の入所者が入所するまでにかかった期間は一人当たり平均8.6日となり、30年度の14.7日に対し、6.1日削減した。 	随時
入所判定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・入所指針に基づき、入所の必要性や緊急性について検討している。 ・元年度の新規申込者は117名、取り下げ者は74名で、入所待機者は2年3月31日現在で95名となっている。 	毎月1回
人材育成委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・「受けたい研修、必要な研修」をコンセプトに年間研修計画を立案、必要に応じて外部から講師を招き、内部研修の充実を図っています。 ・介護福祉士会より講師を招き、プリセプター制度の導入に向けた研修を企画実施、OJT研修のシステムづくりに取り組んだ。 	毎月第2水曜日
看取り介護委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・看取り介護における体制を整え、多職種協働のもと看取り介護を行っている。最期まで本人らしく過ごせるように、寄り添い関わる中で一人一人のニーズを感じ取りケアの充実を図っている。 ・元年度は29名が看取りケアを受けられた。 	毎月第3木曜日
口腔ケア・食事委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりに合わせた、楽しみのある食事の提供を行うことを目的に嚥下機能低下防止のための、口腔体操の実施、口腔ケア用具の選定、食事の姿勢の見直しを行っている。 	3ヶ月に1回
事故防止対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・介護事事故事例検討会の実施や危険予知訓練シートを用いた危険予測のトレーニングを行う。 ・大きな事故を未然に防ぐため、小さな気づきを大切に、「危ない」と感じたらヒヤリハットを提出、会議でその分析をしている。 	毎月第2月曜日
地域における公益的活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域ふれあいサロン」に出向き、「日々の体調管理の4つのポイント」として、苑でも取り組んでいる内容を紹介している。今年度より看取り介護の報告として苑での看取りケアについても紹介させていただいている。 ・元年度は12か所131名のサロン利用者に聞いていただいた。 ・福井県社会福祉法人連携事業推進協議会に参加し「ふく福暮らしサポート事業」として生活困窮者に対する相談・生活支援事業を行う。 	毎月1回 随時

【介護G事業報告】

介護グループでは、それぞれのフロアの特徴を生かしたケアを展開し、重度化する利用者の方々に対しても安心安全に、より満足できるケアを提供できるようにご家族、多職種と連携をとりながら援助している。

また、利用者の方にとって一番身近な存在として常に寄り添い、日々のケアに当たり、利用者の方々が楽しんでいただける行事や外出支援等も企画実施した。

項 目	内 容	備 考
自立支援ケア (4つの基本ケアの実践)	①水分ケア ・1日1500ml目標に飲める工夫をする ・毎日の水分量の記録 ②食事ケア ・食事形態のレベルアップ ・口腔体操の実施（11:30～11:40） ③活動ケア ・毎日の生活動作を通じた生活リハビリの実施 ・歩行練習タイムの実施（11:15～11:30） ④排泄ケア ・おむつに頼らず、立位が出来ればトイレで、座位が出来ればポータブルトイレでの排泄支援を実施	① ・好みの飲み物 ・コップの工夫 ② ・歯科医、言語聴覚士との連携 ③ ・リハ専門職との連携 ④ ・排便コントロールの実施
看取りケア	・頻回に訪室し、コミュニケーションを図りながら安楽の援助に努めた ・本人の好きな音楽等流し、穏やかに過ごしていただけるよう配慮した ・乾燥しがちな口腔内の清潔保持に努めた ・家族の方が落ち着いて過ごせる環境づくりに努めた ・最期に立ち会っていただけるように交換ノート等活用し、家族との情報を密にした	・衝立、ソファの設置
楽しみのある生活への支援	・利用者の方に楽しんでいただけるよう、四季折々の行事や外出支援を企画実施した ・個別の関りを持つため、少人数での外出を実施した	・温泉旅行 ・バーベキュー ・運動会 ・外食、買物等
リスクマネジメント	・利用者一人一人のリスクや特徴を記載した個別リスク把握表を作成、見える化することにより、スタッフ全員が共有できるように努めた	
多職種との連携とミーティングの充実	・ミーティングを毎日実施、申し送りとともに業務改善や個別ケアの実施等、早急に検討が必要な課題について話し合った ・重度ケア対応として、誤嚥リスクの高い方に対する食事ケアについて、言語聴覚士、看護師、栄養士等の専門職とともに誤嚥防止のための食事形態、一口量、姿勢等を検討し、実践した	・毎日13:45～
身体拘束適正化委員会 (身体拘束廃止)	・入所前、退院前につなぎ服や車いすでの安全ベルト等使用していた方の入所や退院に際して、原因を検討し、拘束解除に向けて、尊厳あるケアに努めた。 ・元年度の緊急やむを得ない拘束数は、0件となっている。 ・元年度はケアの質を高めるため、不適切ケアに関するアンケートを実施し、防止のための対応策の検討、実施に各グループ・フロアが取り組んだ	・毎月第2水曜日

【R1年度 看護グループ事業報告】

今年度は早くからインフルエンザが流行ると言われ、例年より早くに予防ワクチン接種を開始した
インフルエンザの感染も1名に抑える事ができた

3月には新型コロナウイルス感染症についての情報に関して冷静に敏感に利用者の健康管理に
努め、早期に面会制限したり環境整備を行った

ショートステイの利用者については、身体的に不調になり入所者と同様に医療(往診)を受け
かかりつけ医との連携を行い対応してきた

項目	内容	備考
他職種との連携(介護職)	介護職の吸痰指導(苑内) 口腔ケアの実技研修 すずらんF 新人介護職研修(医療的知識) 看取り介護の苑内研修実施 芦原温泉旅行同行	新規1名(計32名) 1回 すいせんF 1名 全職対象(2/26) (7/30~7/31)
嘱託医との連携	ほのぼの苑の医療体制について 月火水金の定時往診と病状説明 第1・3木 林Hp 整形外科医師 苑での看取り 病院での死去 Faxメール ラインツール利用	ご家族様に説明 山本内科院長 2回/月 野尻医師 29名 9名(検死3名)
協力病院受診	①定期受診(整形・脳神経・眼科・泌尿器) ②定期受診(精神)③その他地域Hp ④短期受診(皮膚科・耳鼻科等) 救急搬送(骨折・脳・心・肺・腎疾患) 歯科医師往診(斎藤歯科医院)	①林Hp 85回 中村Hp28回 ②15回 ③59回 43回 林Hp 27回 中村Hp 19回 44回
入所者の健康管理	入所者胸部X-P撮影(バス検診) インフルエンザ予防接種(全員) 肺炎球菌ワクチン(対象者) STによる嚥下評価・指導 ショートステイの往診 新型コロナウイルス感染症の対応 ①検温強化 ②面会制限 ③利用者の環境見直し	89名 10月開始する(罹患者1名) 14名(1回/月) 3件 2月28日~ 2月26日~ 除菌・看取りの方の個室移動
研修	老施協 全国大会出席 老施協 感染防止研修出席 老施協 看護研究委員会出席	福井7/18~19 1名 1名 1名

【給食グループ事業報告】

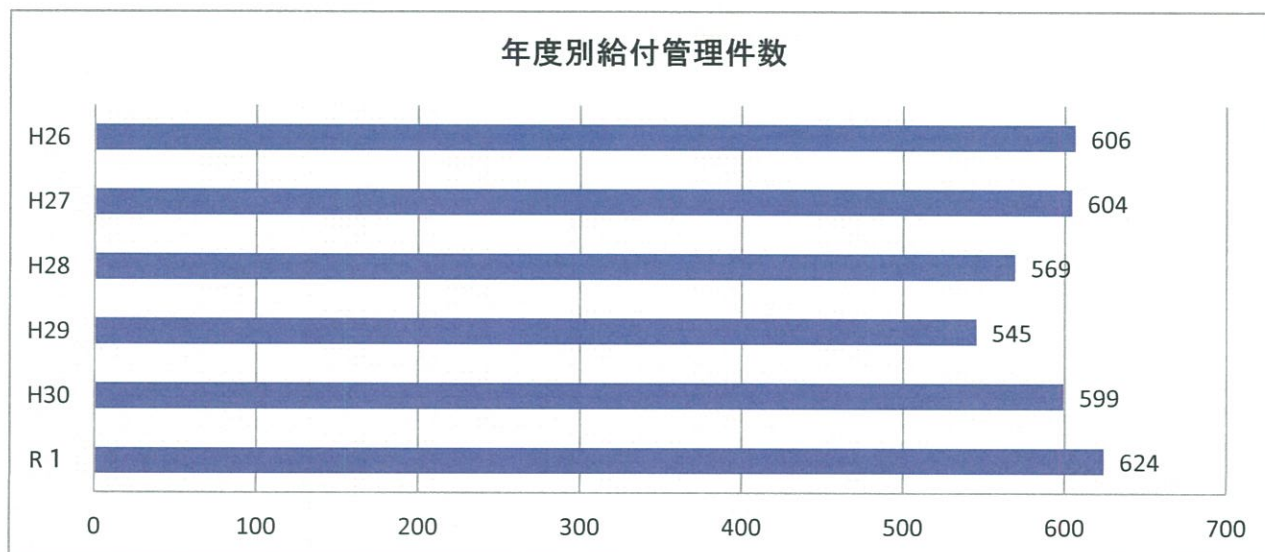
給食グループでは 令和元年度 “安全で満足していただける食事の提供”を目標に取り組みました

項目	内容	備考
記録の徹底と HACCP継続	・食中毒などのトラブルを未然に防止するため 原材料の納品から食事の提供までの管理基準を決め取り組みました。各工程、重要管理項目での記録のもれがないよう担当を決めお互いに確認し合うようにしました。	
環境見直し改善 (異物混入防止)	・年に数件 食事などに毛髪の混入の報告があったため厨房への入室時の衣類の点検を徹底することとし 調理員が厨房内で着用する帽子を首まで覆うタイプの物に変更しました。	
嗜好調査の実施	・年4回(4、7、10、2月)に各フロアの食事委員を通じて実施した。結果をもとに献立の作成、調理の工夫など検討しました。	
研修	・衛生会議を給食会議の開催時と新しい調理員の入職時にあわせて衛生教育として 食中毒予防研修の伝達講習や衛生マニュアルの見直しを行いました。	

【居宅支援グループ事業報告】

令和元年度は「アセスメントを充実させケアプランに活かせる」を目標に、居宅支援契約者増加に重点をおいた。具体的な利用者状況等については別紙のとおりである。

項目	内容	備考
相談援助	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回のモニタリング訪問の際には、サービス提供状況や本人満足度、支援目標の達成度、計画変更の必要性を意識することで、効果的に聞き取りできるようにした。 ・状態に応じたサービス調整、福祉用具貸与、購入、住宅改修などの書類作成、申請を行った。 ・施設入所に関する情報提供、事業所との連携を行い適切な介護を受けられるよう対応した。 	
地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議に出席。在宅高齢者のサービスや連携について学ぶ事が出来た。 ・多職種連携会議に出席。顔のみえるつながる地域福祉について考えた。 ・ふれあいサロンを引き続き開催。地域の方とのふれあい、疑問に対応した。 	
研修・会議	<ul style="list-style-type: none"> ・南越前町ケアマネ連絡会に毎月参加し、年間を通してサービス担当者会議の進め方、課題、悩みについて知識を深めた。 ・居宅支援業務の基礎を学び直し訪問、記録について検討した。 ・県栄養士会より療養食について学んだ。 	
給付管理	<ul style="list-style-type: none"> ・新規受け入れを積極的に行い、のべ給付管理件数が前年度より27件プラスとなった。 ・事業所職員2名ともに給付管理を実施し充実を図った。 ・事業対象者、予防支援者の実績報告を委託されている地域包括支援センターに確実にいった。 ・加算を伴う、入退院時の連携を確実にいった。変更申請時の月遅れ処理に対応した。 	※別紙参照



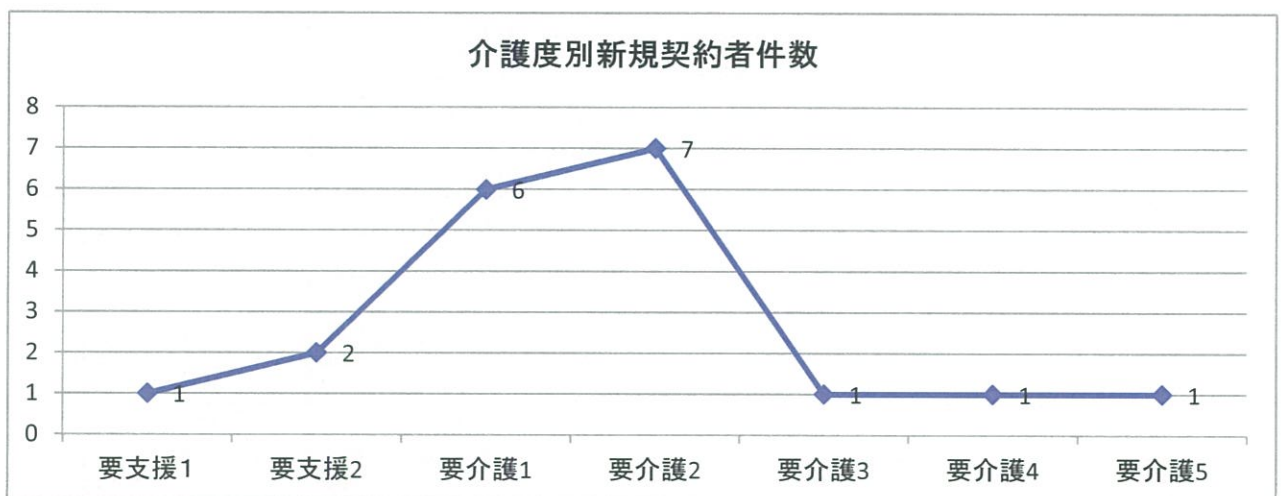
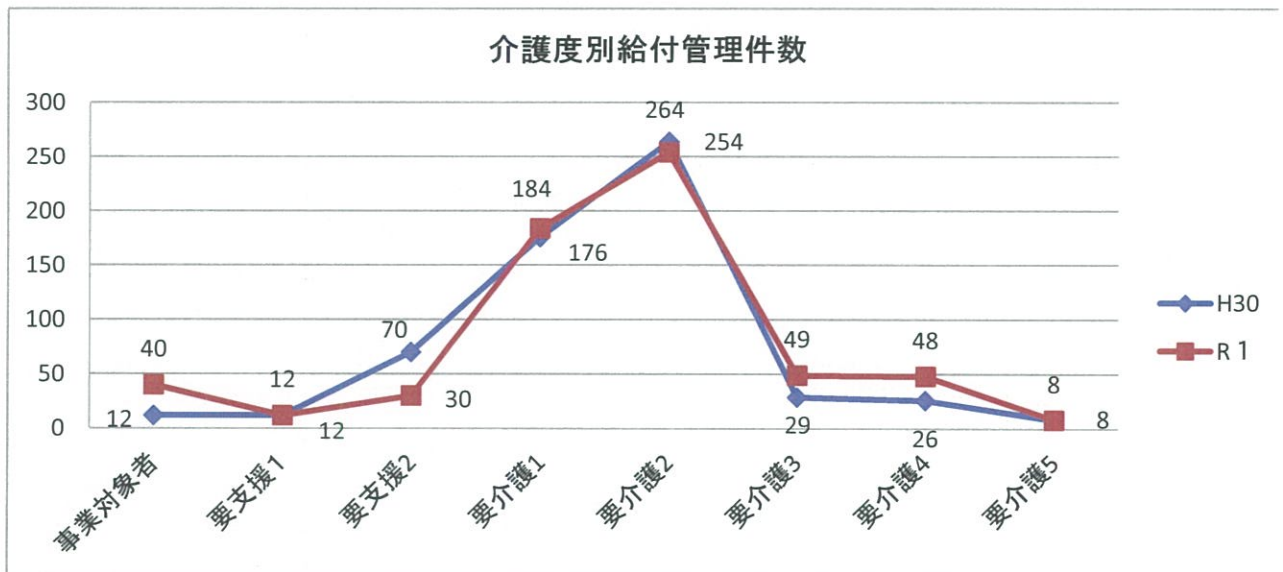
令和元年度 居宅支援事業報告別紙

【月別認定調査件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
認定調査	2	3	5	2	3	2	1	2	0	4	3	2	29	30

【月別新規契約及び給付管理件数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
新規数	2	2	2	1	1	1	1	4	1	2	1	1	19	16
支援事業対象者	4	4	4	3	3	3	3	3	4	3	3	3	40	12
要支援1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12
要支援2	2	4	4	4	3	2	2	2	2	2	2	1	30	70
要介護1	15	15	15	14	13	13	16	16	17	16	17	17	184	176
要介護2	22	23	23	23	21	22	19	20	21	21	19	20	254	264
要介護3	3	3	4	3	5	5	4	5	5	4	4	4	49	29
要介護4	2	3	3	4	4	5	5	5	6	4	3	4	48	26
要介護5	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	2	7	8
合計	49	53	54	52	50	51	51	53	57	52	50	52	624	597



【令和元年度 通所介護事業報告】

デイサービスでは、誰もが住み慣れた地域、我が家での生活をいつまでも継続できるように、ご家族の意向や要望を聞きながら、介護負担軽減を図っております。また利用者個々の健康状態を把握し対応することで生活習慣病や廃用症候群なども防ぐこともできて元気に通っていただいております。楽しみが持てる行事、ドライブ、季節を感じる工作、手作りおやつに取り組んでいます。

項目	内容	備考
ケア	来苑している時間の活動量を増やし運動の継続を促しています。孤立感の解消。レスパイトケア（家族の身体的精神的負担の軽減）を図っています	
職員	ご家族からのお悩みなど相談にのって可能な限り支援させていただき、適宜、介護支援専門員と連携して支援にあたっています	
研修	外部研修の参加は少なかったが、苑内の研修に参加や担当をする事で意識を高め、知識を深める事ができています。	研修不参加職員への伝達
行事	・手作りおやつ ・誕生会 ・ドライブ ・出前、外食	利用者に意向を聞きながら実施

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	前年比														
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女												
利用者		112	137	119	162	103	151	104	154	90	147	92	156	95	181	82	155	90	169	76	169	74	177	85	180	1,122	1,938	-57	-124
計		249	281	254	258	237	248	276	237	259	245	251	265	3060	-181														
介護度	事業対象者	5	6	8	9	8	8	9	15	9	11	8	14	10	16	7	4	12	4	12	4	12	7	13	10	221	+138		
	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	±0
	要支援2	30	0	32	3	27	2	30	5	29	0	29	0	28	0	24	5	27	11	28	12	27	16	23	17	405	-34		
	要介護1	22	57	0	60	0	54	0	64	0	58	0	40	0	48	0	39	0	44	0	47	0	56	9	55	653	-330		
	要介護2	47	61	73	74	64	72	65	53	52	66	55	64	57	67	51	67	51	65	36	70	35	71	40	80	1436	-137		
	要介護3	8	8	6	9	4	7	0	8	0	8	0	30	0	32	0	32	0	28	0	20	0	11	0	8	219	+116		
	要介護4	0	5	0	7	0	8	0	9	0	4	0	8	0	15	0	6	0	14	0	12	0	12	0	6	106	+50		
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	3	0	4	0	4	0	4	20	+16	
ケアカンファレンス		0	3	3	3	4	2	0	1	0	2	1	1	1	3	4	1	0	3	0	0	2	5	0	2	41	+20		
個人計画		1	1	3	4	1	4	1	5	1	3	1	7	1	0	3	6	2	6	2	7	0	5	1	7	72	+33		
稼働率 %		75.5%	81.4%	84.7%	74.8%	71.8%	78.7%	80.0%	75.2%	86.3%	81.7%	83.7%	80.3%	79.5%	-5.8%														
新規利用		1	1	1	3	1	0	0	3	0	1	0	4	0	1	1	1	0	2	0	0	1	5	0	0	26	+20		
事故件数 (転倒、骨折)		1	1	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	5	-1													
ひやりはっと件数		6	13	20	10	11	5	13	2	6	5	10	1	102	+2														